

2024年版

【WMSの導入と経営に関する実態調査】

倉庫・物流業の7割以上が、
「WMS」導入で経営上でのメリットを実感
64.4%から「在庫管理の最適化とコスト削減」の声

WMS導入と経営に関する実態調査
株式会社ダイアログ

調査概要

調査実施者

株式会社ダイアログ

調査概要

WMS導入と経営に関する実態調査

調査方法

IDEATECHが提供するリサーチPR「リサピー®」の企画による
インターネット調査

調査期間

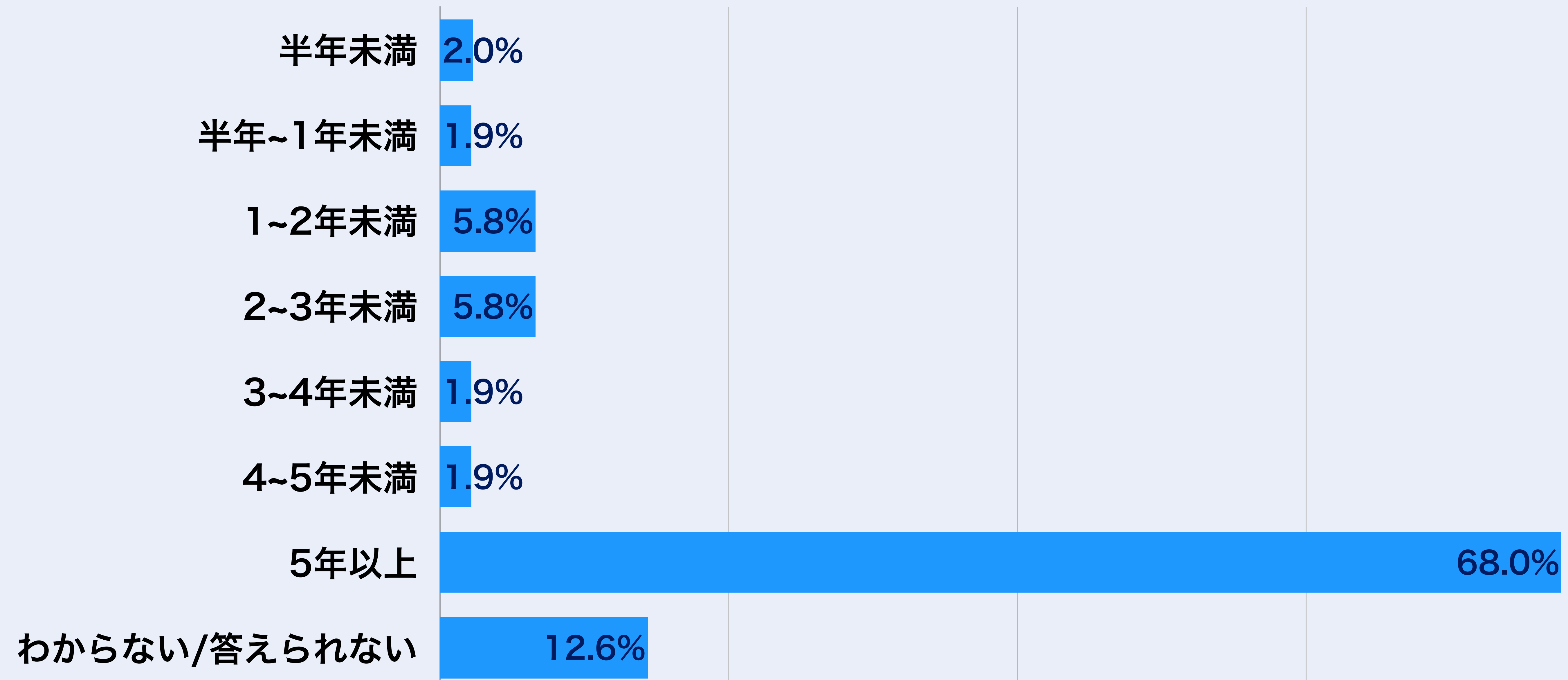
2024年2月26日～同年2月27日

有効回答

WMSを導入している倉庫・物流業の経営者・役員・倉庫現場責任者・役員相当・
部長相当・課長相当103名

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

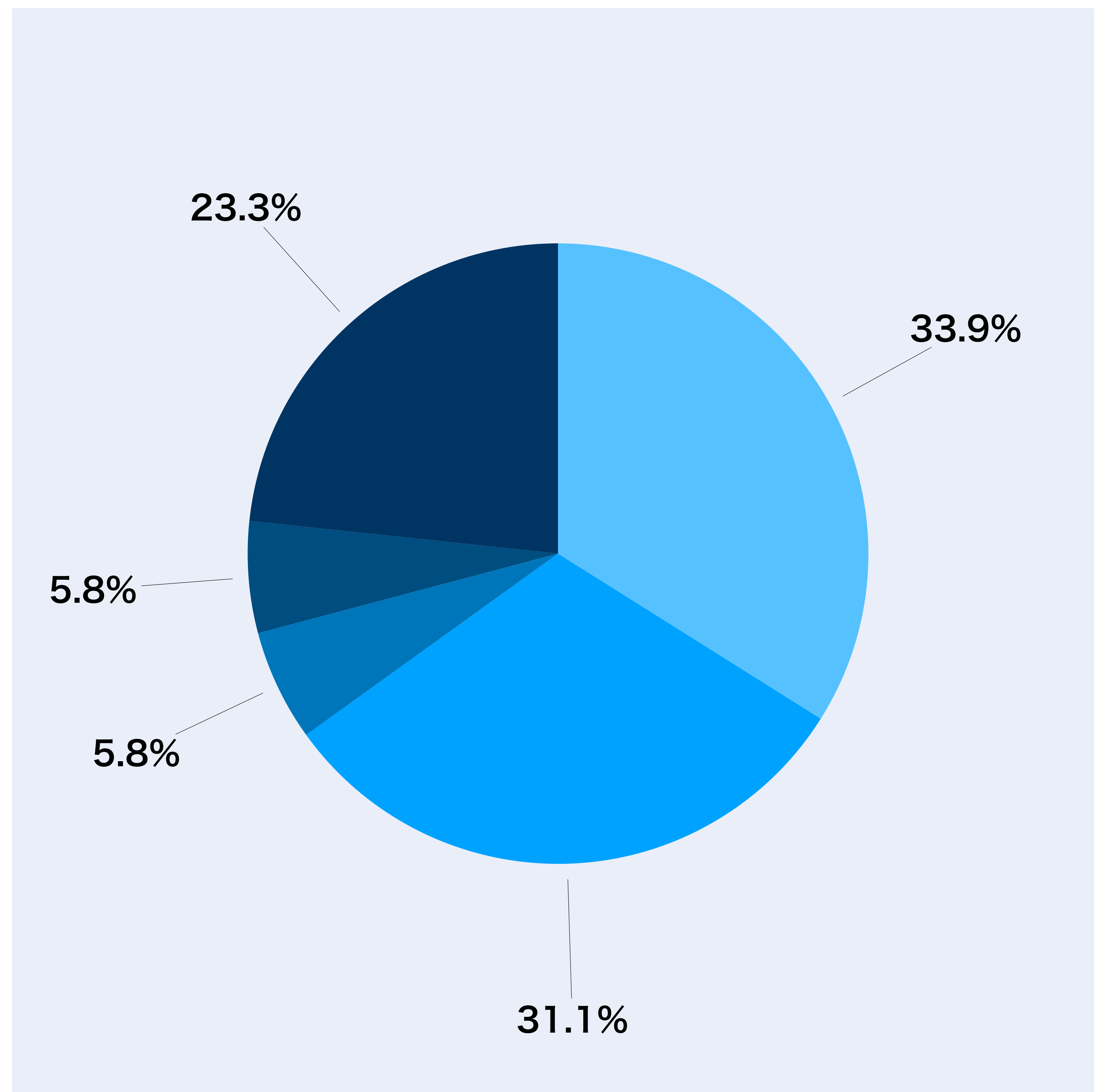
Q1 あなたの会社で、WMSを導入してどの程度の期間が経過しましたか。



n=103、調査期間：2024年2月26日～同年2月27日
WMS導入と経営に関する実態調査

約7割の企業が、WMS導入から「5年以上」経過していると回答しました。

Q2 WMSを導入する前に、経営目線で感じていた課題はありましたか。

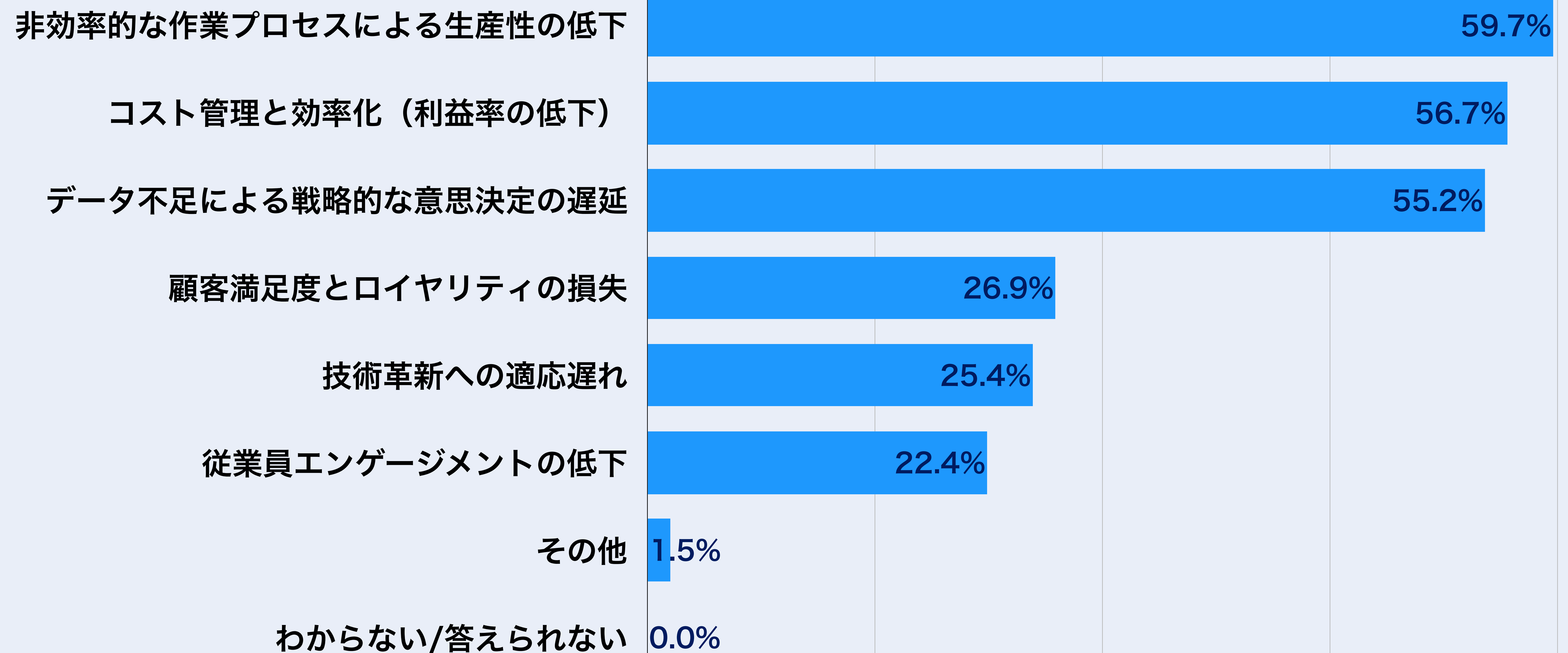


- 33.9% かなりあった
- 31.1% ややあった
- 5.8% あまりなかった
- 5.8% 全くなかった
- 23.3% わからない/答えられない

65.0%が、WMS導入前に「経営目線」で課題があったと回答しました。

Q3

Q2で「かなりあった」「ややあった」と回答した方にお聞きします。
WMSを導入する前に、経営目線で感じていた課題を教えてください。（複数回答）



n=67、調査期間：2024年2月26日～同年2月27日
WMS導入と経営に関する実態調査

WMS導入前に経営目線で感じていた課題は、
「非効率的な作業プロセスによる生産性の低下」
「コスト管理と効率化」が上位となりました。

Q4

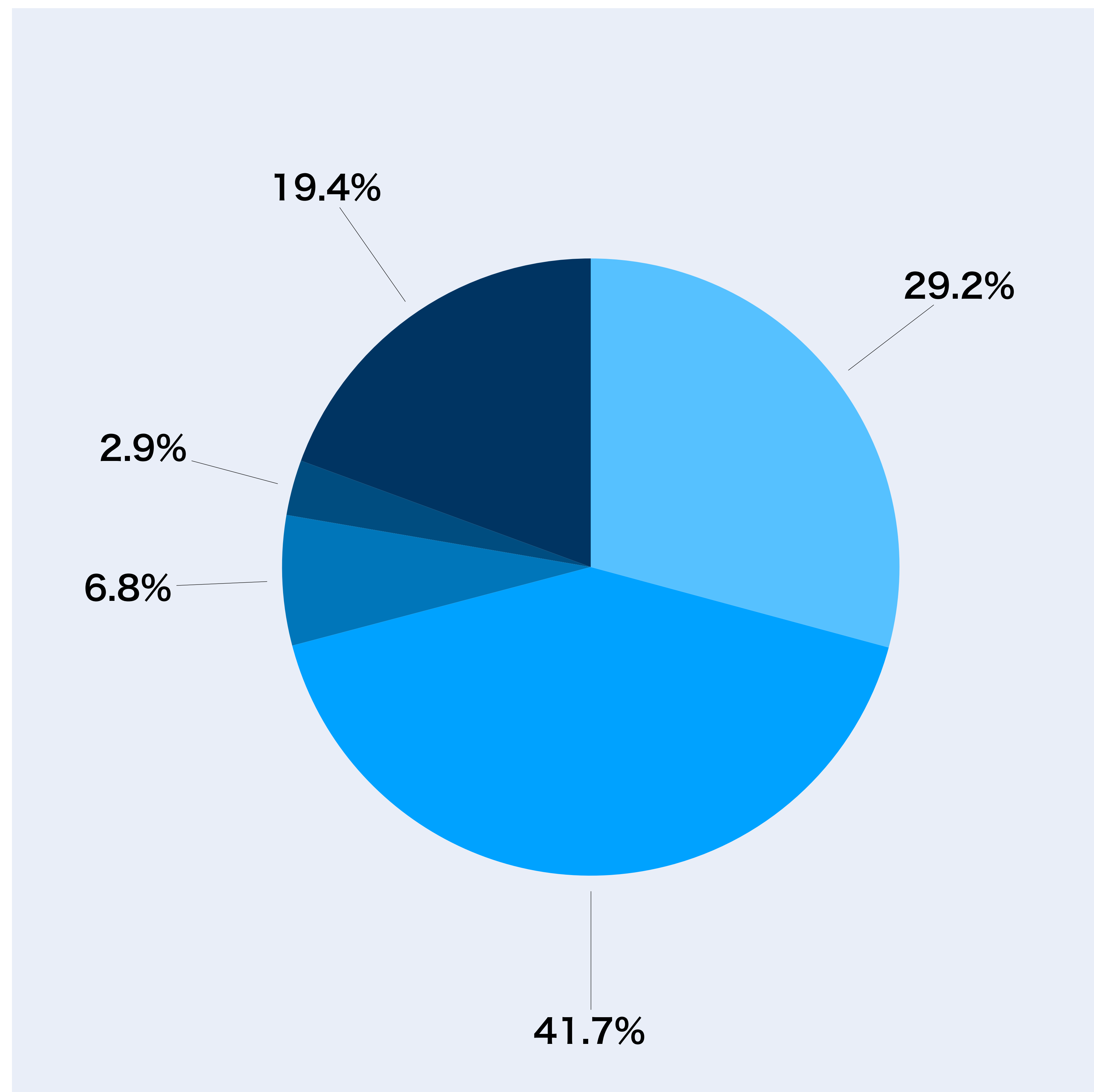
Q3で「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。
Q3で回答した以外に、WMSを導入する前に経営目線で感じていた課題があれば自由に教えてください。（自由回答）

<自由回答・一部抜粋>

- ・ 47歳：業績の日々把握。
- ・ 69歳：顧客からのWMS導入要求(データ接続)。
- ・ 60歳：他社との連携。
- ・ 57歳：数値に基づいたロジカルな思想の欠如。
- ・ 57歳：適正な在庫管理。
- ・ 51歳：組織の硬直化。
- ・ 44歳：データが見える化できていない。

「組織の硬直化」や「適正な在庫管理」
などの課題も明らかになりました。

Q5 あなたは、WMS導入後、経営上のメリットを感じていますか。

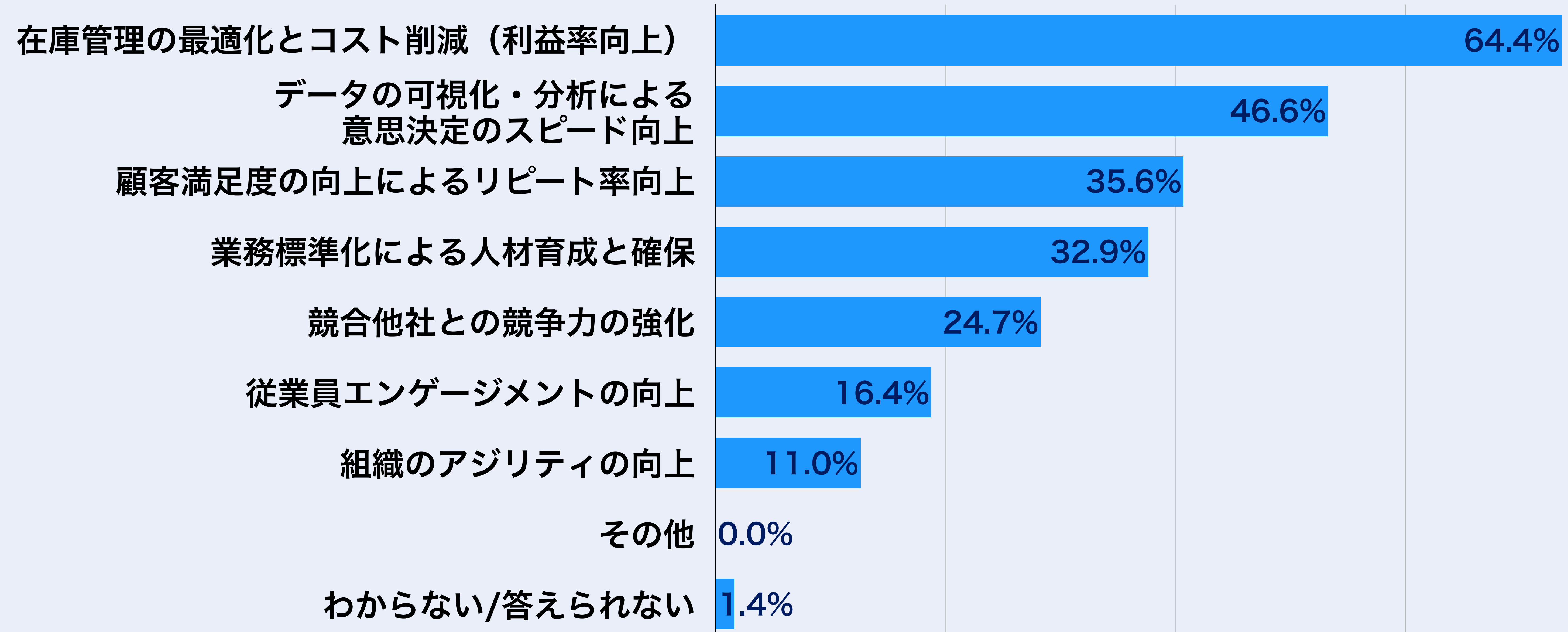


- 29.2% 非常に感じている
- 41.7% やや感じている
- 6.8% あまり感じない
- 2.9% 全く感じない
- 19.4% わからない/答えられない

70.9%が、WMS導入後に「経営上のメリット」を実感していることが分かりました。

Q6

Q5で「非常に感じている」「やや感じている」と回答した方にお聞きします。
WMS導入後に感じている、経営上のメリットを教えてください。（複数回答）



n=73、調査期間：2024年2月26日～同年2月27日
WMS導入と経営に関する実態調査

WMS導入後に感じている経営上のメリットは、
「在庫管理の最適化とコスト削減（利益率向上）」
が64.4%で最多の回答となりました。

Q7

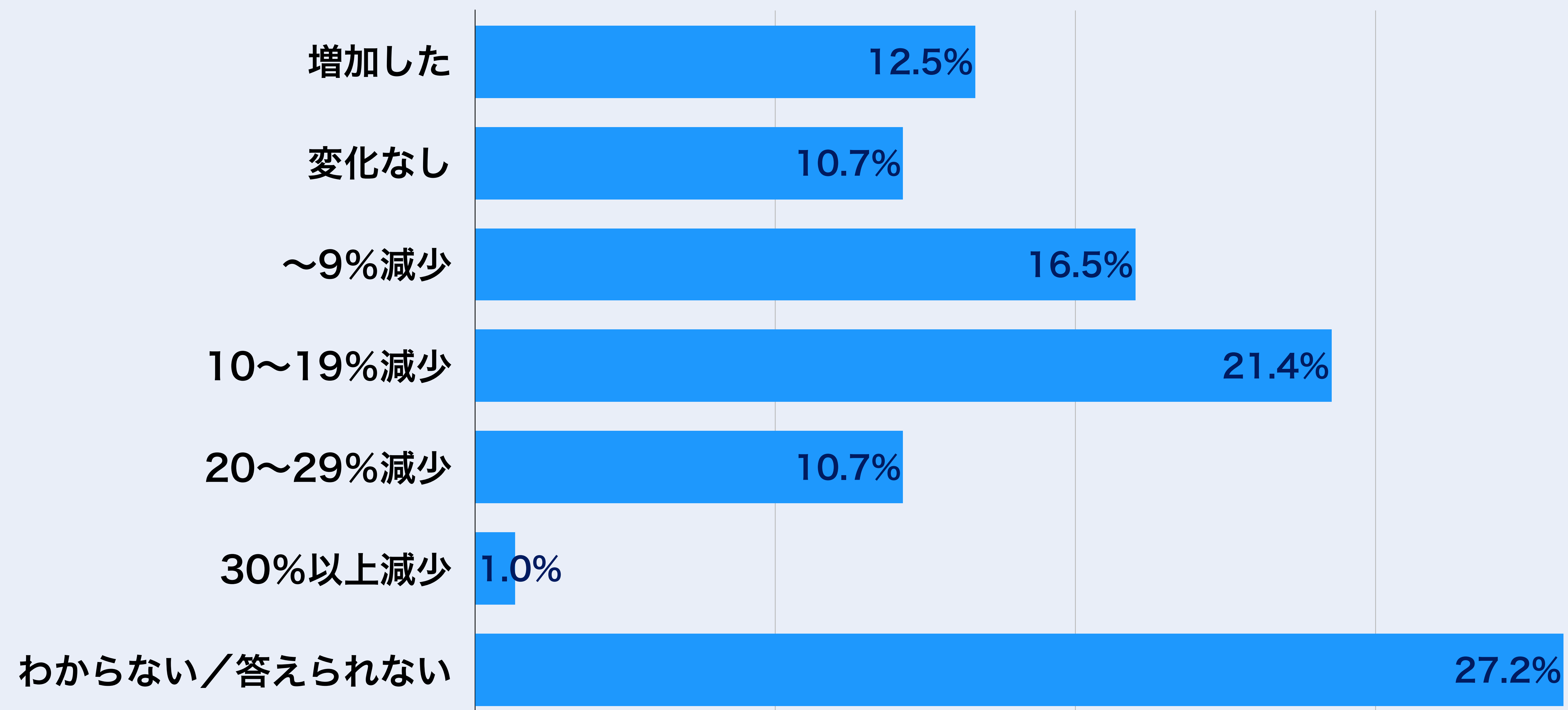
Q6で「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。
Q6で回答した以外に、WMS導入後に感じている、経営上でのメリットがあれば、自由に教えてください。（自由回答）

<自由回答・一部抜粋>

- ・ 49歳：分析や可視化につながることで差別化要因となる。
- ・ 47歳：倉庫オペレーションの標準化による品質の向上。
- ・ 57歳：ロジスティクスの抜本的な改善が成った。
- ・ 50歳：水平展開。
- ・ 41歳：工程、EDIの見える化です。特に工程の見える化は、ブラックボックスとなりやすい部分を消化出来ます。
- ・ 51歳：データが可視化される。
- ・ 43歳：精度の良く効率的な作業が出来る事で人件費を抑えられるから。

「倉庫オペレーションの標準化による品質の向上」
や「データが可視化される」などのメリットも
明らかになりました。

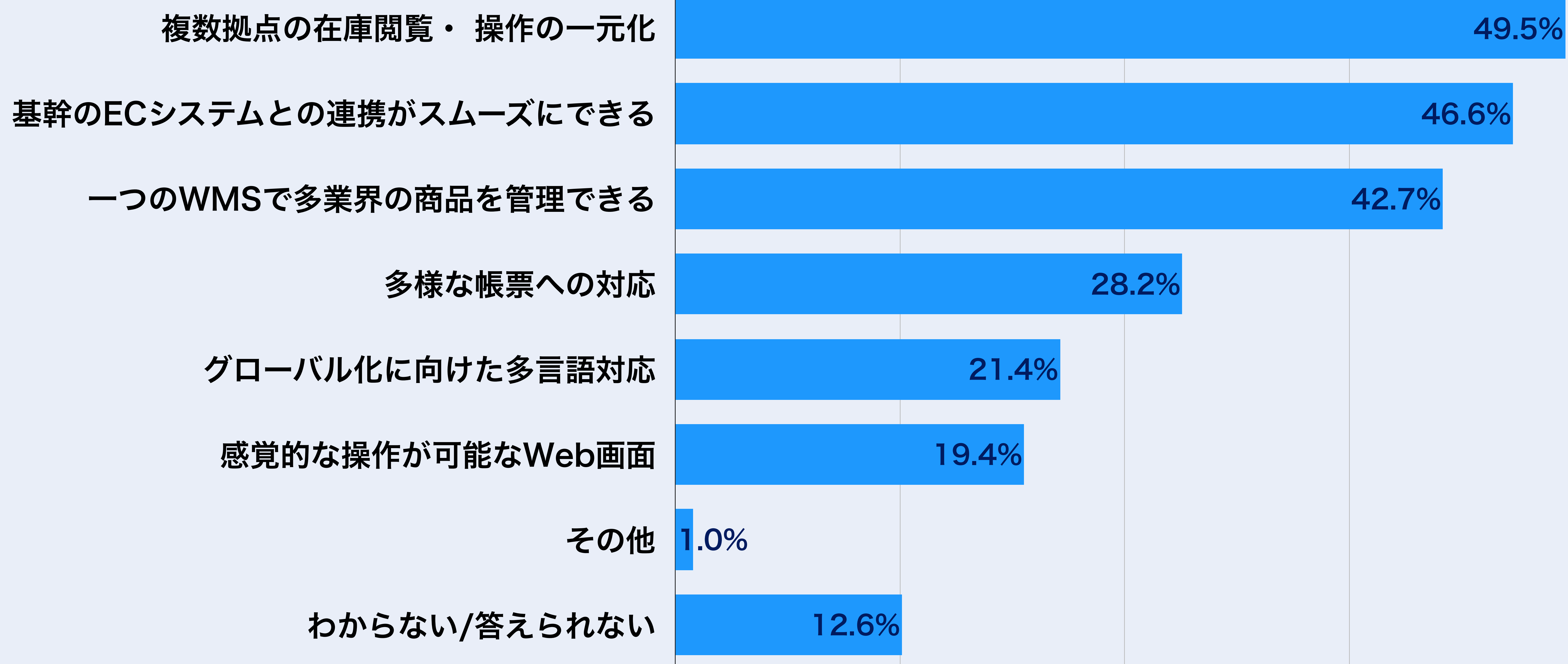
Q8 WMS導入後、倉庫管理にかかるコストの変化を教えてください。



n=103、調査期間：2024年2月26日～同年2月27日
WMS導入と経営に関する実態調査

約半数が、WMS導入後に「倉庫管理のコストが減少した」と回答しました。

Q9 今後、WMSの機能や利用方法に期待していることを教えてください。（複数回答）



n=103、調査期間：2024年2月26日～同年2月27日
WMS導入と経営に関する実態調査

今後WMSに期待していることに、「複数拠点の在庫閲覧・操作の一元化」や「基幹のECシステムとの連携がスムーズにできる」などが上位にあがりました。

Q10 Q9で「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。
Q9で回答した以外に、今後、WMSの機能や利用方法に期待していることがあれば、自由に教えてください。（自由回答）

<自由回答・一部抜粋>

- ・ 48歳：コストの最適化。
- ・ 33歳：財務システム、受発注システムとの連携。
- ・ 57歳：人による判断をシステム化したい。
- ・ 38歳：誰でもできる作業の追求。
- ・ 33歳：荷主間を超えた在庫、データ管理がしたい。
- ・ 54歳：データの自動グラフ化データの自動集計、分析。
- ・ 43歳：作業の進捗管理とレイバーマネジメント。

「荷主間を超えた在庫、データ管理」や「作業の進捗管理とレイバーマネジメント」などに期待する声も挙がりました。

ダイアログとは

2013年11月創業。株式会社ダイアログ（東京都品川区、代表者: 方志嘉孝）は物流×ITをテーマに、物流領域のイノベーションを実現するソリューションを提供する物流領域のプロフェッショナル集団。

主力ソリューションであるSaaSクラウド型WMS「W3 mimosa」、カスタマイズ型WMS「W3 sirius」を中心に、ロジスティクス分野に対して戦略企画、業務改革コンサルティング、WMSやシステム開発等によるDX化から機器・資材・人材・倉庫業務までを支援するロジスティクス総合支援カンパニー。

また、WMS以外にもリバーズ物流活用サービス「SMARI」を企画・開発し、2022年12月時点でローソン店舗を中心に約3000箇所への導入を実施している。

<https://www.dialog-inc.com/>

お問い合わせ

企業名

株式会社ダイアログ

MAIL

yamamotok@dialog-inc.com

WEB

<https://www.dialog-inc.com/>

会社住所

〒141-0031

東京都品川区西五反田2-12-3

第一誠実ビル8F